

# 新「八代市」の 基本政策

10月11日、市議会定例会の初日、本会議の冒頭で行われた坂田市長の市政運営に対する所信表明の内容をご紹介します。



私は、このたび市民の皆様方のご信任を受けまして、新「八代市」の初代市長として就任させていただきました。誕生したばかりの市政の舵取りという大役を担い、その責任の重さを痛感しておりますと同時に、市民の皆様方の負託にこたえるべく、「元氣と活力ある都市づくり」を目指し、市議会並びに市民の皆様方と一緒に頑張って、全力で取り組みます。

現在、本市は、基幹産業である農業や中小企業の低迷、そして市中心部の大型店舗の閉鎖、さらには、観光客数の増加をもたらずと期待された九州新幹線の開業効果も思ったほど伸びておらず、本市を取り巻く情勢は、活気と活力に乏しく、大変厳しい状況下にあります。

しかし、新「八代市」は、広大な八代平野、母なる川球磨川をはじめ、豊かな山、緑、海などの大自然のもとで、歴史と文化と伝統に育まれており、また、個性豊かな地域の広がりを持つなど、非常に恵まれた環境にあります。

また、九州縦貫自動車道、南九州西回り自動車及び九州新幹線、海の玄関口の八代港など、交通の拠りどころとして、地の利を得た、すばらしい地域であります。

このような無限の可能性を秘めている本市においては、スピード感をもって行財政の改革を進めるとともに、マインスマ思考だけではなく、明日の八代の活性化のために、思い切った施策が必要とされます。

そこで、私は、これからの市政運営の基本政策として、次の7点を重点的に取り組んでまいります。

## 一、都市基盤の整備

新八代駅へのアクセス道路の整備のほか、南部幹線等道路網の整備、広域ネットワーク道路の整備などを計画的に進める。また、国際貿易港八代港を東アジアをにらんだ港とするため、5

万トンバースの早期完成を目指し、南九州をにらんだ物流拠点都市の形成に取り組み。

## 二、豊かで活力ある産業の振興

八代最大の基幹産業である農林水産業の再生と商工業の育成、支援並びに企業誘致に力を入れるとともに、やる気のある中小企業の支援など、地域産業の振興を図り、地域経済を活性化させる。

## 三、観光の振興

球磨川や八代海、五家荘、日奈久温泉など恵まれた自然や歴史、文化、伝統を生かしたまちづくりを推進する。

## 四、うるおいとやすらぎのある福祉のまちづくり

介護予防体制の確立に努め、子を持つ親が安心して働くことのできる環境づくりに努めるとともに、地域医療の確立を図る。

## 五、個性を生かし、個性を伸ばす教育の推進

学校、家庭、地域が一体となって連携・協力し、互いの教育力を高め、確かで豊かな教育の構築に努める。

## 六、環境対策

自然と共存・共生できるような資源循環型社会の構築に努める。

## 七、防災対策

災害に強く、安全なまちづくりを推進する。

以上、市政の各分野にわたって、私の基本政策の概要を述べましたが、市民の皆さんが、「合併してよかった」

と思える新しいまちの実現のために、県政に携わった経験、人脈を生かしながら、「創生 輝く新都 八代」を基本理念とし、また、合併協議会で決まった事柄については誠実に実行しつつ、新たな決意と情熱を持って取り組むことが私に課せられた使命であると改めて実感しているところです。

しかしながら、これらを着実に実現していくためには、適正な財政計画に基づいて施策を実施していかなければなりません。硬直化した財政状況を打開し、限られた財源をより効率的に有効に活用していくためには、無駄を排し、必要なものには積極投資を試みつつ、併せて、財政の健全化を図り、ガラス張りの市政運営はもろろんのこと、民間活用による市政運営を行い、さらなる行財政改革を進めていかなければならないと考えております。

そのため、合併による効果を最大限に活かすために、私が本部長を務める「行財政改革推進本部」を立ち上げ、速やかな行財政改革大綱の策定と進行政管理に努めます。

なお、平成18年度から、市民の皆様方の意向を踏まえ、新市の将来にわたってあるべき姿を展望した、まちづくりの長期ビジョンである新「八代市総合計画」の策定に着手する予定で、その中で先程申し述べました、私の基本政策を具体的に方向づけをしてまいりたいと考えております。